

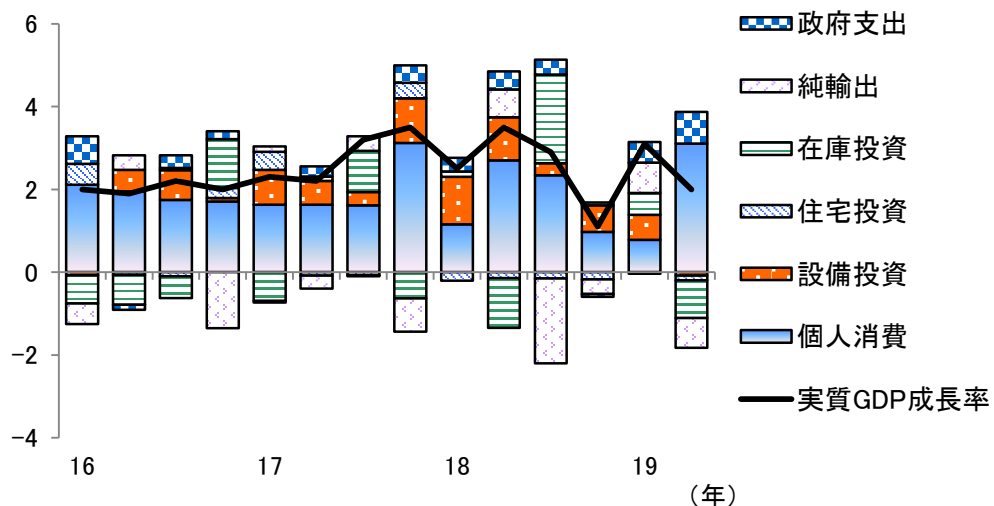
アメリカ経済グラフポケット (2019年9月号)

2019年9月9日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター 上野 まな美
研究員 矢作 大祐

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



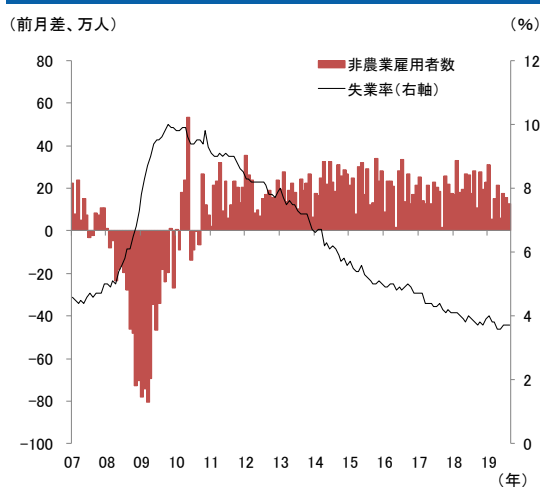
| (前期比年率、%、%pt) | 2017 | | 2018 | | | | 2019 | |
|---------------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|
| | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6 |
| 国内総生産 | 3.2 | 3.5 | 2.5 | 3.5 | 2.9 | 1.1 | 3.1 | 2.0 |
| 個人消費 | 2.4 | 4.6 | 1.7 | 4.0 | 3.5 | 1.4 | 1.1 | 4.7 |
| 設備投資 | 2.4 | 8.4 | 8.8 | 7.9 | 2.1 | 4.8 | 4.4 | -0.6 |
| 住宅投資 | -2.0 | 9.9 | -5.3 | -3.7 | -4.0 | -4.7 | -1.0 | -2.9 |
| 政府支出 | -0.1 | 2.4 | 1.9 | 2.6 | 2.1 | -0.4 | 2.9 | 4.5 |
| 輸出 | 4.4 | 10.1 | 0.8 | 5.8 | -6.2 | 1.5 | 4.1 | -5.8 |
| 輸入 | 1.3 | 14.0 | 0.6 | 0.3 | 8.6 | 3.5 | -1.5 | 0.1 |
| 寄与度 | | | | | | | | |
| 個人消費 | 1.6 | 3.1 | 1.2 | 2.7 | 2.3 | 1.0 | 0.8 | 3.1 |
| 設備投資 | 0.3 | 1.1 | 1.2 | 1.0 | 0.3 | 0.6 | 0.6 | -0.1 |
| 住宅投資 | -0.1 | 0.4 | -0.2 | -0.2 | -0.2 | -0.2 | 0.0 | -0.1 |
| 在庫投資 | 1.0 | -0.6 | 0.1 | -1.2 | 2.1 | 0.1 | 0.5 | -0.9 |
| 政府支出 | 0.0 | 0.4 | 0.3 | 0.4 | 0.4 | -0.1 | 0.5 | 0.8 |
| 輸出 | 0.5 | 1.2 | 0.1 | 0.7 | -0.8 | 0.2 | 0.5 | -0.7 |
| 輸入 | -0.2 | -2.0 | -0.1 | 0.0 | -1.3 | -0.5 | 0.2 | 0.0 |

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

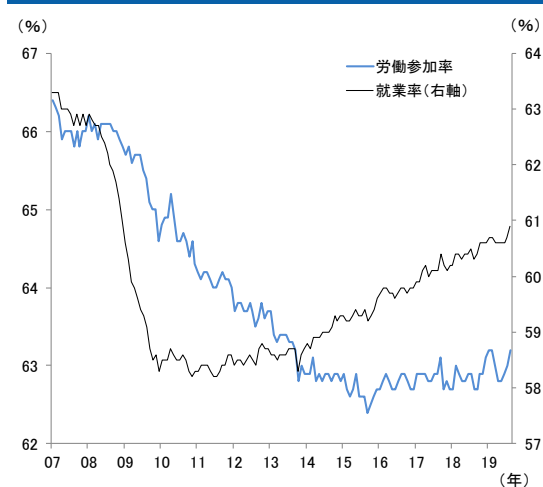
- ◆ 8月の失業率は前月比3.7%と3ヵ月連続で横ばいとなり、低水準を維持した。
- ◆ 8月の非農業雇用者数の前月差は13.0万人増となり、2ヵ月連続で伸びが鈍化した。
- ◆ 非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は15.0万人増となった。失業率が歴史的な低水準で推移する中、雇用者数が伸びにくくなっていると考えられる。

非農業雇用者数と失業率



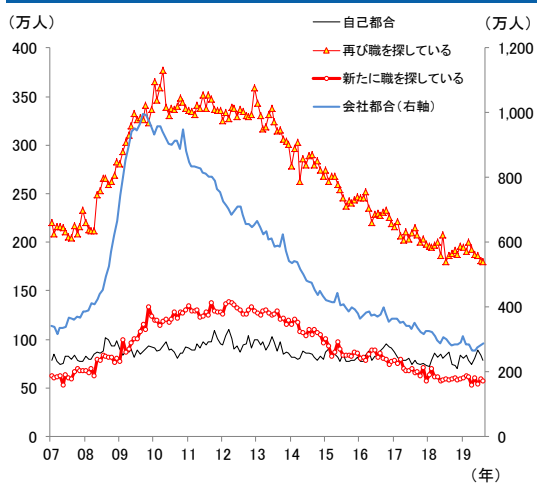
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



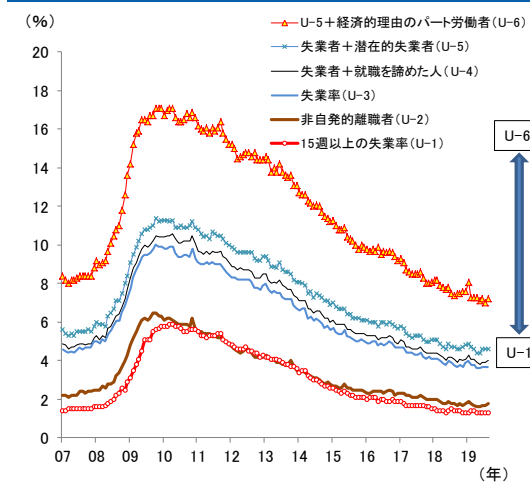
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



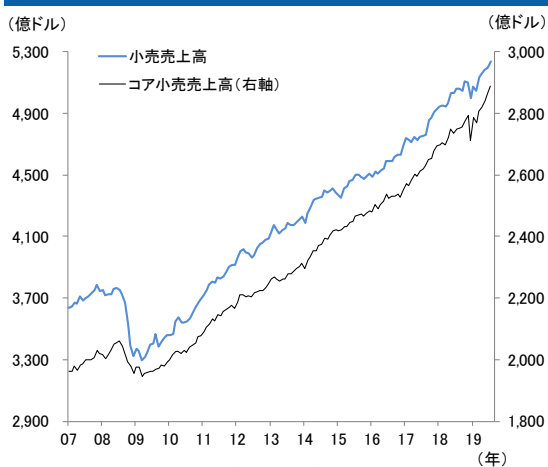
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研レポート ニューヨークリサーチセンター 矢作大祐「雇用者数は期待外れも、それ以外は堅調」(2019年9月9日) 参照。 https://www.dir.co.jp/report/research/economics/usa/20190909_021017.html

個人消費

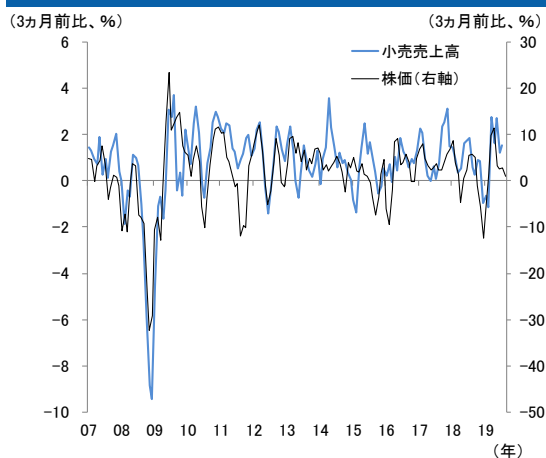
- ◆ 7月の小売売上高は前月比0.7%増となり、コア小売売上高も同1.0%増と伸びが加速した。両売上高ともに5ヵ月連続で増加し、安定した増加傾向が続いている。
- ◆ 8月の自動車販売台数は前月比1.1%増加し、年率換算で1,707万台であった。2019年モデルの在庫販売促進などに起因し、3ヵ月ぶりに増加に転じた。
- ◆ 8月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の98.4から89.8へと低下した。米中貿易摩擦による追加関税などへの懸念が高まったことから、2012年12月以来の大幅な低下となり、2016年10月以来の低水準となった。

小売売上高の推移



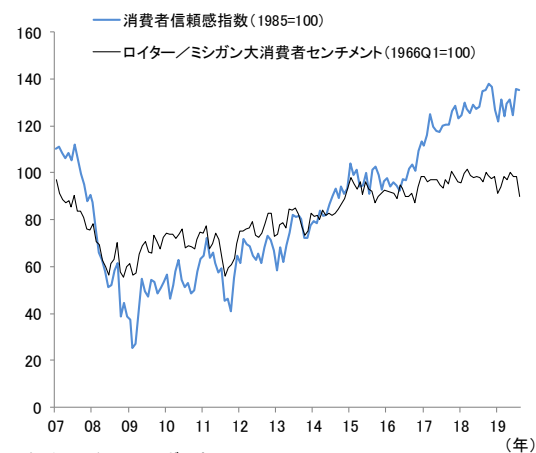
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



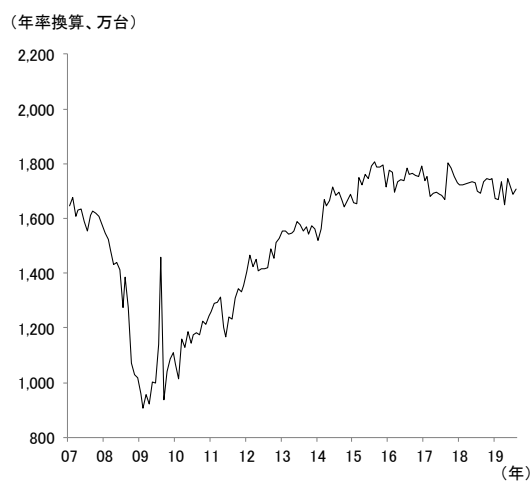
(注) 株価はWilshire5000。
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所) ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

自動車販売台数

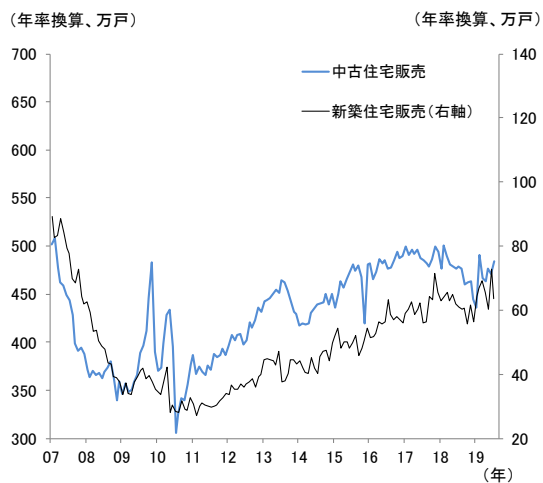


(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅市場

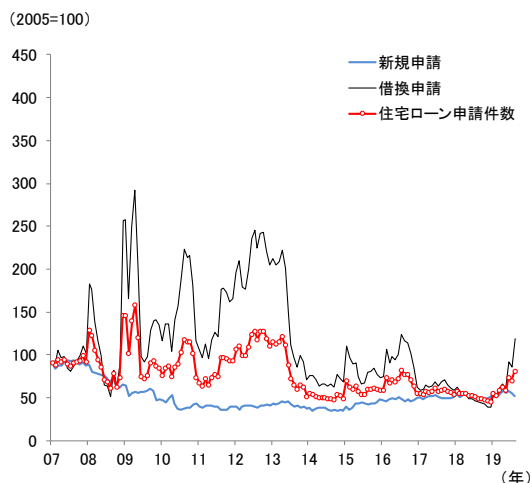
- ◆ 7月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比4.0%減の年率換算119.1万戸となった。一戸建ての着工は増加したものの、集合住宅の着工の落ち込みが影響し、3ヵ月連続の減少となった。
- ◆ 7月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比2.8%増の年率換算484.0万戸となった。住宅ローン金利の低下が販売を押し上げて増加に転じ、2019年2月以来の高水準となった。
- ◆ 7月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比12.8%減の年率換算63.5万戸であった。前月分の販売が大きく上方修正されたことが響き、2013年7月以来の大幅な減少となった。
- ◆ 6月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月から横ばいとなった。住宅価格は上昇基調が続いているものの、上昇率は鈍化傾向にある。

住宅販売（一戸建て）



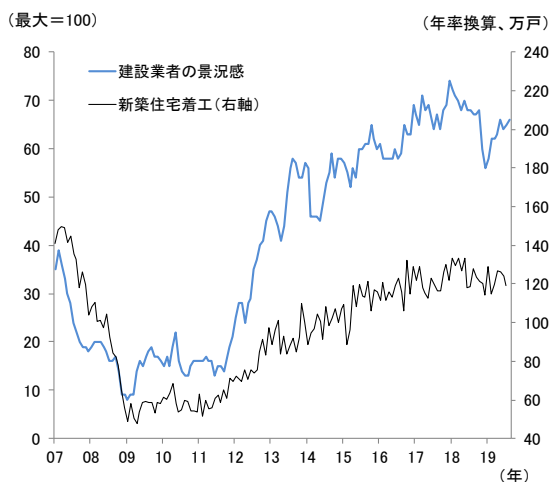
(出所) Census, NAR, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅ローン申請件数



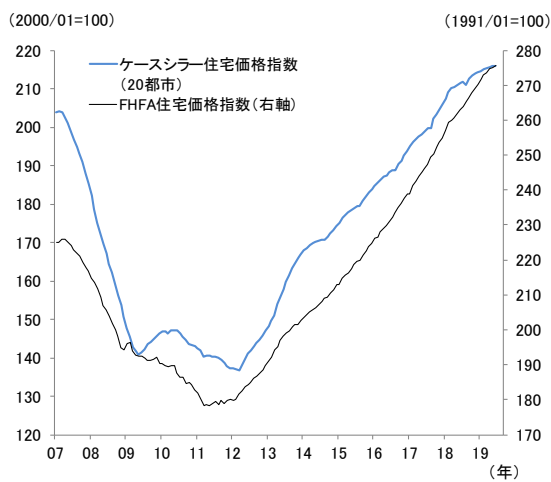
(出所) MBA, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅着工と建設業者の景況感



(出所) Census, NAHB, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅価格

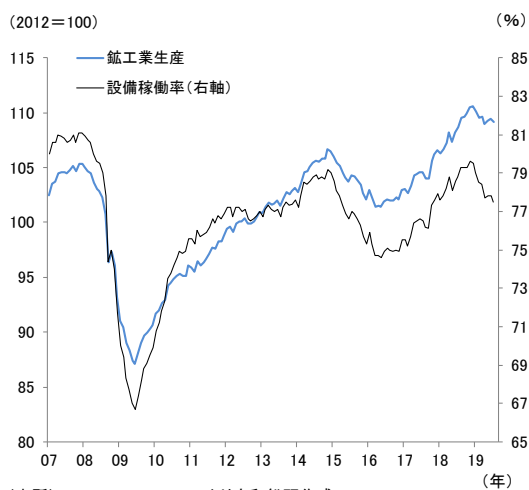


(出所) S&P, FHFA, Haver Analyticsより大和総研作成

企業動向

- ◆ 7月の鉱工業生産指数は前月比0.2%低下した。公益部門が上昇したものの、指数全体の約75%を占める製造業（SICベース）が同0.4%低下したほか、鉱業も低下し、全体では3ヵ月ぶりの低下となった。
- ◆ 7月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比0.2%増と、3ヵ月連続で増加した。
- ◆ 8月のISM製造業指数は、前月から2.1%pt低下の49.1%となった。米中貿易摩擦などの懸念が高まり5ヵ月連続で低下し、2016年8月以来初めて拡大・縮小の分岐点である50%を下回った。非製造業指数は、前月から2.7%pt上昇の56.4%となった。3ヵ月ぶりに上昇し、2016年8月以来の低水準となった前月から急回復した。

鉱工業生産と設備稼働率



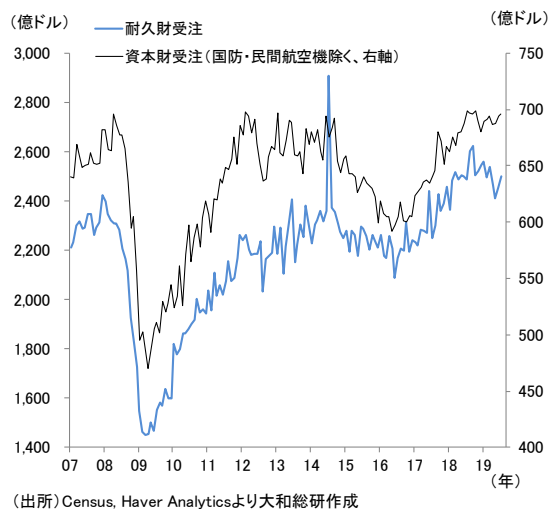
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



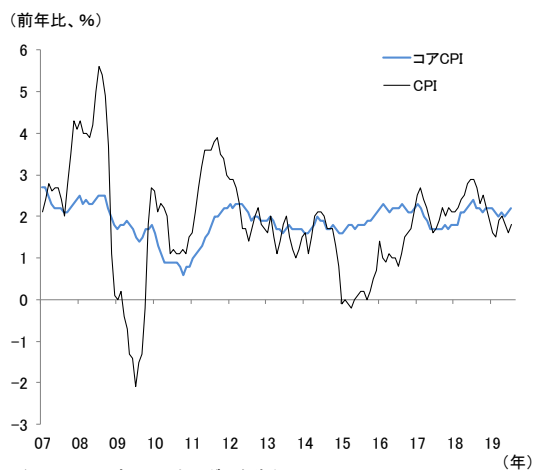
耐久財受注



物価動向

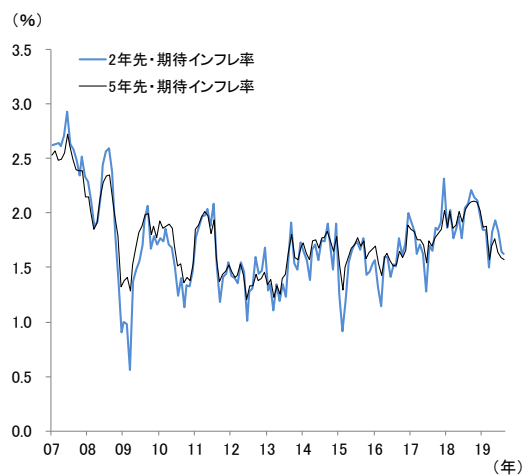
- ◆ 7月のCPI（消費者物価指数）は前年比1.8%上昇し、前月から上昇幅が拡大した。コアCPIは同2.2%上昇と、2ヵ月連続で上昇幅が拡大した。
- ◆ 8月の2年先期待インフレ率は1.62%で、5年先期待インフレ率は1.57%となり、いずれも3ヵ月連続で前月から低下した。
- ◆ 8月末のWTI原油先物価格は55.10ドル/バレルとなり、7月末の58.58ドル/バレルから下落した。世界経済の低迷による原油の需要減が懸念され、価格が押し下げられた。

消費者物価指数



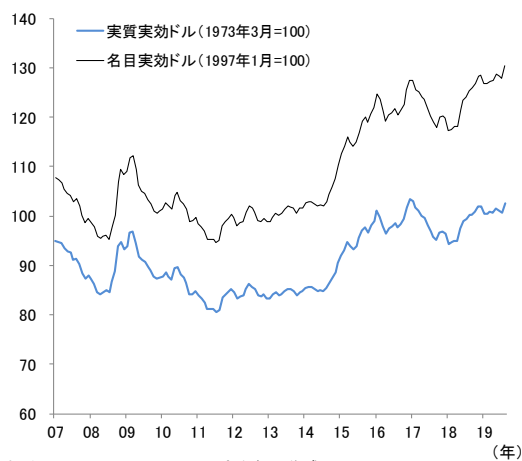
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

期待インフレ率



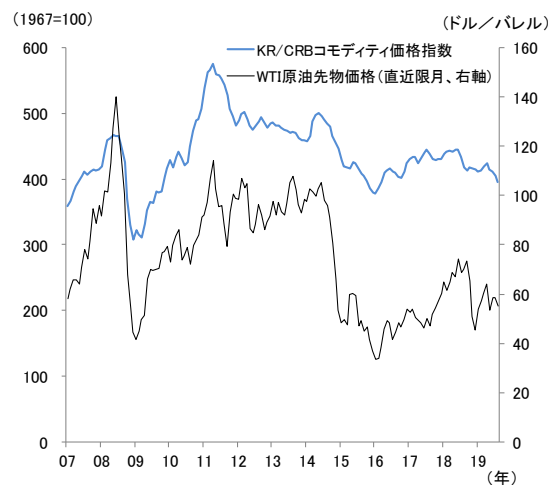
(出所) Cleveland Fed, Haver Analyticsより大和総研作成

実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

コモディティ価格

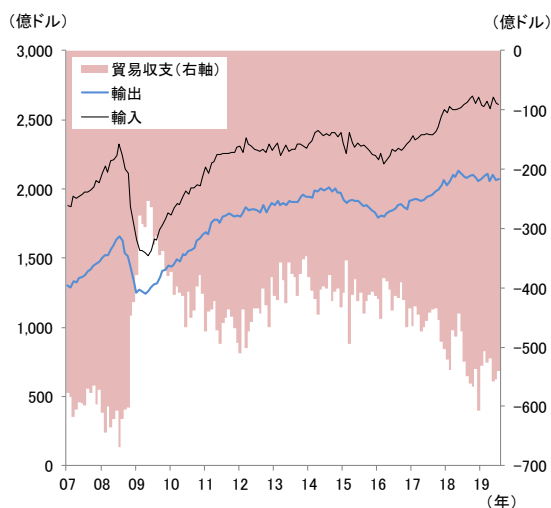


(出所)CRB, Haver Analyticsより大和総研作成

輸出入・経常収支

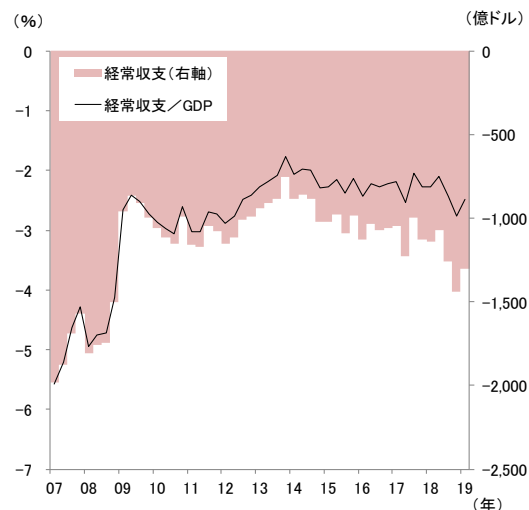
- ◆ 7月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.6%増加し、輸入は同0.1%減少した。この結果、貿易赤字は同2.7%減の540億ドルとなり、2ヵ月連続で縮小した。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では医薬品をはじめとする消費財が主に増加し、輸入においてはコンピューターといった資本財の減少が目立った。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比6.2%増加し、日本向けも同3.1%増加したが、中国向けは同13.8%減と、2018年8月以降二桁台の大幅な減少が続いている。一方の輸入は、欧州からの輸入が同9.6%増と2017年7月以降増加が続いているほか、日本からの輸入も同9.1%増となった。中国からの輸入は同11.9%減と7ヵ月連続で減少した。

貿易収支動向



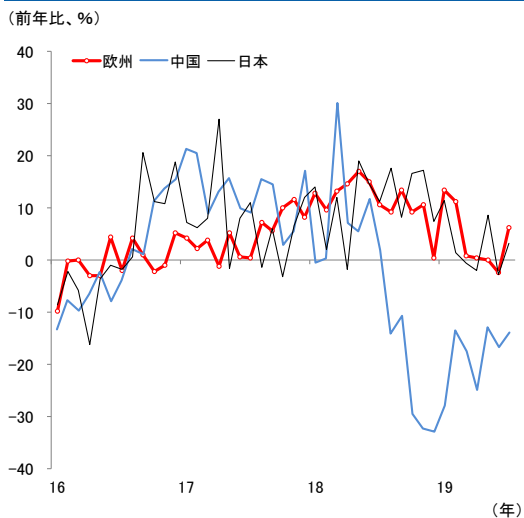
（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

経常収支の推移



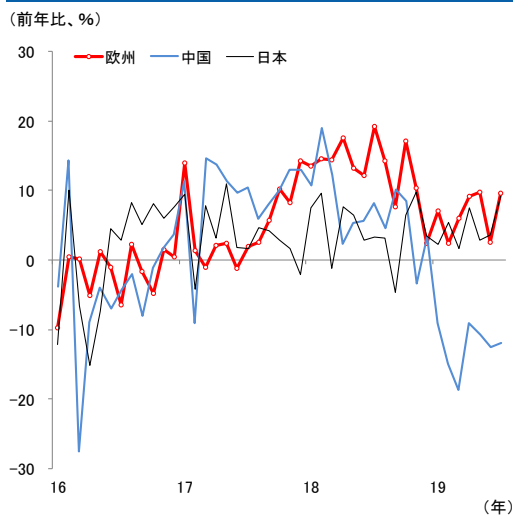
（出所）BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸出動向



（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸入動向

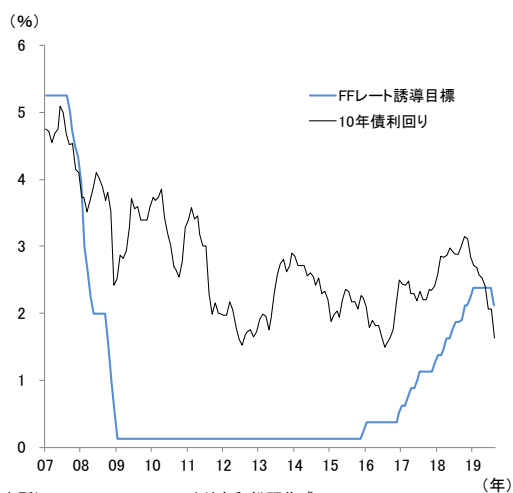


（出所）Census, Haver Analyticsより大和総研作成

金融・財政

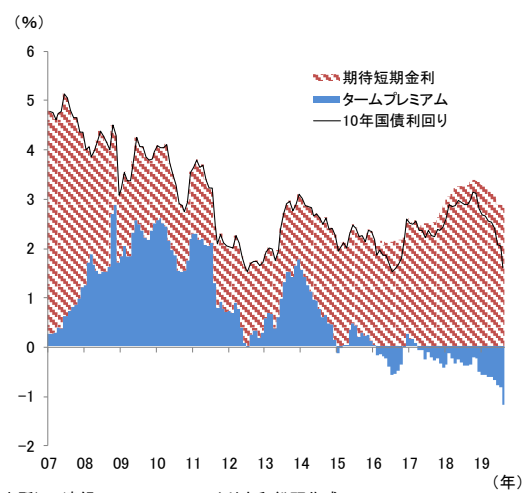
- ◆ 7月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジを0.25%pt引き下げ、2.00-2.25%にすることが決定された²。利下げの実施は2008年12月の会合以来である。また、FRBが2017年10月から進めてきた資産縮小を当初予定より2ヵ月早い2019年7月末で停止することも決定された。FRBの資産残高は、直近の9月4日の週平均が約3兆8,100億ドルであった。
- ◆ 8月の長期金利（10年債利回り）の月中平均値は1.63%であった。米中貿易摩擦や世界経済の低迷に対する懸念から米国債の需要が非常に強まり、月中平均値としては2016年9月以来の低水準となった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、赤字幅が拡大した。

政策金利・長期金利



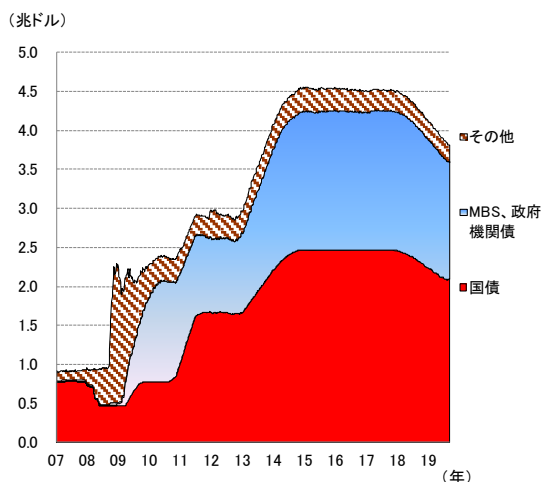
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

タームプレミアム(10年)



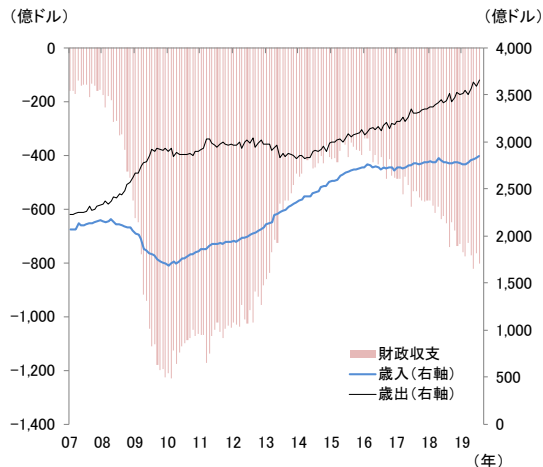
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成

² 大和総研レポート ニューヨークリサーチセンター 矢作大祐「FOMC 想定通り 0.25%の利下げを実施」(2019年8月1日) 参照。 https://www.dir.co.jp/report/research/economics/usa/20190801_020938.html